

# 人材開発支援助成金のご案内

～人材開発に取り組む事業主を支援します～

# 人材開発支援助成金とは？

1. 「人材育成支援コース」 : 10時間以上のOFF-JT、中核人材を育てるために実施するOJTとOFF-JTを組み合わせた6か月以上の訓練、有期契約労働者等の正社員転換を目的として実施するOJTとOFF-JTを組み合わせた2か月以上の訓練に対して助成。
2. 「教育訓練休暇等付与コース」 : 有給の教育訓練休暇制度を導入し、労働者が当該休暇を取得して訓練を受けた場合に助成。
3. 「建設労働者認定訓練コース」 : 中小建設事業主等が職業能力開発促進法による認定訓練を行った場合や、雇用する労働者に認定訓練を受講させた場合に助成。
4. 「建設労働者技能実習コース」 : 中小建設事業主等が雇用する建設労働者に技能の向上のための実習を受講させた場合に助成。
5. 「障害者職業能力開発コース」 : 障害者に対して職業能力開発訓練事業を実施する場合に助成。
6. 「人への投資促進コース」
7. 「事業展開等リスクリング支援コース」

# 「人への投資促進コース」とは？

- ・ **雇用保険被保険者**に対して、**職務に関連した専門的な知識と技能の習得**を目的として、**計画に沿って訓練を実施**した場合に、**訓練中の賃金と訓練にかかった経費の一部を助成**します。
- ・ 自発的な教育訓練を受けるために必要な教育訓練休暇を労働者に与える**長期教育訓練休暇等制度を企業に導入**し、**労働者が実際に教育訓練休暇等を取得**した場合に**導入経費と教育訓練休暇中の賃金の一部を助成**します。

# 「人への投資促進コース」

高度デジタル人材訓練  
/成長分野等人材訓練

**高度デジタル人材・高度人材を育成したい！**

：高度デジタル人材の育成のための訓練や大学院での訓練。

情報技術分野認定実習  
併用職業訓練

**ITやデジタル分野で即戦力となる人材を育成したい！**

：OFF-JTとOJTを効果的に組み合わせた訓練として厚生労働大臣の認定を受けたIT分野未経験者に対する訓練。

定額制訓練

**オンラインの定額受け放題サービスで効率的に訓練を受講させたい！**

：多様な訓練の選択・実施を可能とするサブスクリプション型の研修サービスによる訓練。

自発的職業能力開発  
訓練

**労働者の自発的な学び直しの費用を支援したい！**

：労働者が自発的に受講した訓練経費を負担する事業主への助成。

長期教育訓練休暇制度  
/教育訓練短時間勤務等  
制度

**労働者の自発的な学び直しのための時間を確保したい！**

：働きながら訓練を受講するための長期休暇制度や短時間勤務等制度を導入する事業主への助成。

# 助成率と助成額

訓練コース	対象の訓練	経費助成率		賃金助成額	
		中小企業	大企業	中小企業	大企業
高度デジタル人材訓練・成長分野等人材訓練	ITSS(ITスキル標準)レベル4・3となる訓練等	<u>75%</u>	<u>60%</u>	<u>960円</u>	<u>480円</u>
	海外も含む大学院での訓練	<u>75%</u>		国内大学院の場合 <u>960円</u>	
情報技術分野認定実習併用職業訓練	IT分野未経験者（正規雇用労働者の即戦力化のための訓練（OFF-JTとOJTを組み合わせた訓練））	<u>60%</u>	<u>45%</u>	<u>760円</u>	<u>380円</u>
		(+15%)		(+200円)	(+100円)
		OJT実施助成額			
		<u>20万円</u>	<u>11万円</u>		
		(+5万円)	(+3万円)		
定額制訓練	サブクリプション型の研修サービス	<u>60%</u>	<u>45%</u>		
		(+15%)			
自発的職業能力開発訓練	労働者の自発的な訓練費用を事業主が負担した訓練	<u>45%</u>			
		(+15%)			
長期教育訓練休暇等制度	長期教育訓練休暇制度（30日以上連続休暇取得）	<u>20万円</u>	<u>1人1日当たり6000円</u> (※有給休暇の場合)		
		(+4万円)	(+1200円)		
	教育訓練短時間勤務等制度	<u>20万円</u>			
(+4万円)					

※賃金助成額は、**1人1時間当たりの額**です。OJT実施助成額は、**1人1訓練当たりの額（定額）**です。

※（ ）内の助成率（額）は、賃金要件・資格等手当要件を満たした場合の助成率（額）です。

# 「人への投資促進コース」の活用例

## 定額制訓練を行った場合

### 課題

様々なコンテンツの中から、従業員1人ひとりに合った訓練を行い、**知識を深めてほしい!**

### 訓練

- 訓練コース  
営業職研修受け放題講座（40名）
- 訓練内容  
新入社員から管理職までの幅広い層に対応した営業職に関するeラーニング訓練。
- 訓練経費：42万円  
(1名～50名まで：1か月3.5万円×12か月分の料金)

助成金を活用

### 助成内容（中小企業の場合）・成果

- 助成率・額  
経費助成：60%
- 助成額（左記の訓練内容の場合の例）  
経費助成：252,000円  
(42万円×0.6=25.2万円)
- 成果  
1つの訓練契約で幅広い層に訓練を行うことができ、**企業全体の生産性向上に繋がった。**

# 事業展開等リスクリテラシー支援コース

新たな事業の立ち上げなど  
**事業展開等に伴い必要となる知識および技術を習得**させるため  
の訓練を助成します

## 対象者

労働者：雇用保険被保険者

## 訓練

- ① 訓練時間数が**10時間以上**
- ② **OFF-JT**
- ③ **職務に関連した訓練で、以下のいずれかに該当**

- i) **事業展開**を行うにあたり、新たな分野で必要となる専門的な知識及び技能の習得
- ii) 企業内の**デジタル・デジタルトランスフォーメーション (DX)化**や**グリーン・カーボンニュートラル化**を進めるにあたり、これに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得

# 参考

## 「事業展開」

新たな製品を製造したり、新たな商品やサービスを提供すること等により、新たな分野へ進出すること。このほか、事業や業種の転換や、既存事業の中で製品の製造方法、商品やサービスの提供方法を変更する場合もあたる。

例)

繊維業を営む事業主が、医療機器の製造等、医療分野の事業を新たに開始する。

新商品や新サービスの開発、製造、提供又は販売を開始する。

## 「デジタル・DX化」

デジタル技術を活用して、業務の効率化を図ることや、顧客のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革する等し、競争上の優位性を確立すること。

例)

ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めた。

顔認証やQRコード等によるチェックインサービスを導入し手続きを簡略化した。

## 「グリーン・カーボンニュートラル化」

徹底した省エネ、再生可能エネルギーの活用等により、CO2等の温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。

例)

農薬の散布にトラクターを使用していたが、ドローンを導入した。

風力発電機や太陽光パネルを導入した。



# 助成率・助成額

経費助成率		賃金助成額 (1人1時間当たり)		1事業所1年度あたりの 助成限度額
中小企業	大企業	中小企業	大企業	
75%	60%	960円	480円	1億円

# 「事業展開等リスクリング支援コースの活用例

## 新規事業のための人材育成を行った場合

### 課題

1年後に先端技術（IoTや画像AI）を活用した安全監視のためのシステムを設計・開発・販売する事業を新たに立ち上げたいが、現在に対応できる人材が足りない。

### 訓練

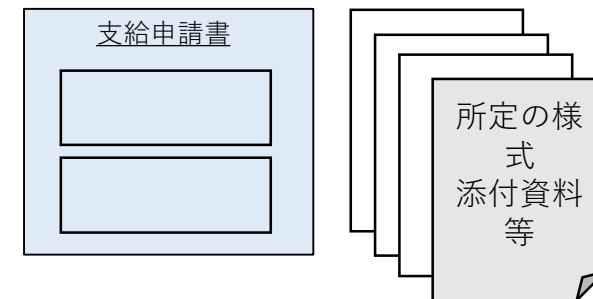
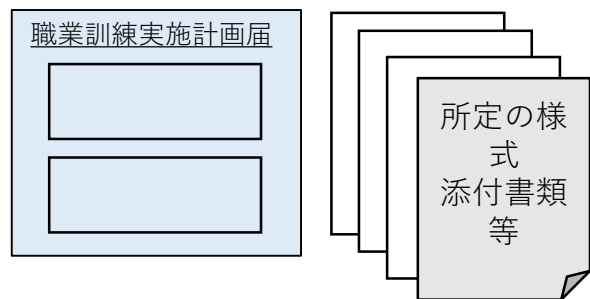
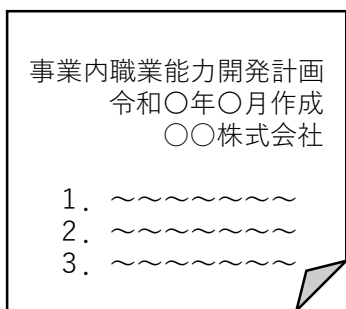
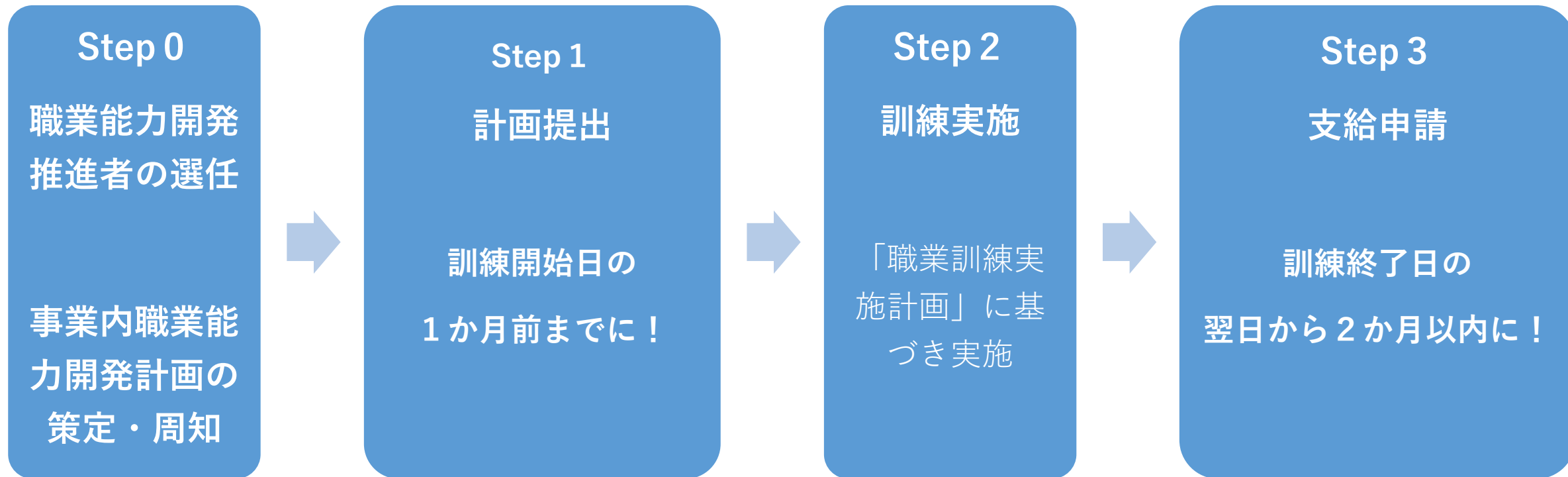
- 訓練コース  
AI技術の基礎および応用
- 訓練内容  
AIの基礎知識、機械学習等の訓練
- 訓練経費：25万円/1人  
(4人受講する場合：100万円/4人)
- 訓練時間：30時間（7.5時間×4日間）

### 助成内容（中小企業の場合）・成果

- 助成率・額  
経費助成：75%  
賃金助成：1時間あたり960円
- 助成額（左記の訓練内容の場合の例）  
経費助成：75万円（25万円×75%×4人）  
賃金助成：115,200円（30時間×960円×4人）
- 成果  
無事に新規事業を立ち上げることができ、新技術を活用した新製品や新サービスの開発、製造等を開始することができた。

助成金を活用

# 助成金受給までの流れ



★申請手続き等に関しては厚生労働省HPをご確認ください。  
ご不明な点は助成金センターへお問い合わせください。

# お問い合わせはこちら

- 愛媛労働局助成金センター

〒790-0878

愛媛県松山市勝山町2-6-3 FJ松山ビル2階

☎089-987-6370

または

- 事業所管轄のハローワーク